

## アイカ・ラングベンチレータ CLV50

わが国においてCLV50がすでに800台を越える納入実績を有していることを知らないむきも多いことであろう。集中治療用のベンチレータを取り扱う専門医の間ではとかく長い歴史と斬新な機能を合わせ持った舶来の機種に関心が行きがちなのは仕方がないが、本器をはじめ基本器としてはまず十分な性能・機能を備えた国産機種も存在しており、しかも一般への普及器となっている事実を認識しておく必要があると思われる。

本器は機能的にはCV3000にはほぼ匹敵している。呼吸モードは調節、補助、SIMVおよびCPAP（定常流）で、前3者にはネプライザーを併用できる。副モードとしてPEEP、SIGH、EIPおよびPressureサイクルが可能となっている。同じ定常流回路を有するCV3000では流量が可変であるのに対し本器では流量が一定（25L/分）なのでこの過不足はリザーバーバッグの大きさなどで調節する必要がある。CV3000では不足分はデマンド回路から供給されるが、弁の反応性がやや鈍く、この点はバッグ方式の本器の方が抵抗が少なくて良いとも考えられる。またCPAP中にPEEP値を増していくときは定常流によりさらに呼吸抵抗を増すことに注意する必要がある。流量は施設により好みがあるわけで必ずしも標準装備での25L/分にこだわらずメーカーに依頼して変えてもらうことも可能である。一般に本器により上記モードで呼吸管理を行うに当たっては、機械的な大きな問題はなく、故障も少ない。

機器類に限らず日本の製品には当初独創性が乏しく、舶来品の良い所をまず取り入れ、国内事情に即した仕様にして作り出すという過程が必ずあるというてよい。まさに本器はその段階にあるといえるが、メーカー側ではまずじっくりとこの基本器としての完成度を高める姿勢であって欲しいものである。デ

マンド弁や呼気弁の性能の向上には長くしかも実のある経験が必要であるといわれる。専門医の間でも認識を新たに、厳しく注文を出し、積極的に改良に参画し、研究等にも使用していく態度であって欲しいものである。優秀なベンチレータを産出する国には優秀な専門医が存在していると考えるのが国際的な常識であろうし、やがてほかの業種と同様、人工呼吸器の分野でも舶来品を凌駕する日の到来を期待しているものである。

本器はわが国の一般病院の事情によく即した仕様（エア・コンプレッサー内蔵、コンパクト、静音など）になっており、故障時や使用者の希望によるマイナーチェンジによく対応できるサービス体制が整っているという国産品ならではの利点がよく生かされ、これが一般への普及の第一原因となっていると思われる。さらに過去の本欄で指摘された改良希望点（酸素濃度計の表示の変更、呼吸回路の両側設置可能など）にも素早く反応し、より充実した受け入れ側としての素地の確立を希望したい。

国産、舶来に限らずメーカーの側では協力体制ができつつあり、セミナーを持って、知識の向上、一般への普及啓蒙活動に乗り出したところであると聞いている。確かに用語だけをとっていても各社のパンフレットでまちまちであり専門外の医師、看護婦、パラメディカルなどへの教育上の問題は多いところであり、大いに歓迎すべき動きであると考えられる。彼らの医師側へのアプローチの対象はまず本研究会になる見込みであり、読者諸氏におかれてはこれに対し温かい対応を希望するものである。

日本医科大学 麻酔科  
井上 哲夫

# aika

# Ventilator CLV50

## アイカ ラングベンチレータ CLV50



ムダを省いて  
スリムに充実しました。

●使いやすくて目立たず、しかも静かです。  
コンプレッサーを内蔵しているので、  
空気配管のない病棟でも使用可能です。

●スリムで場所をとりません。

幅600mm、奥行き738mm、高さ1145mmの  
コンパクトサイズは、病室でも邪魔になりません。

●簡単操作です。

セットはシートスイッチを押すだけ。とても簡単です。  
一回換気量、呼吸数などは、わかりやすく  
デジタル表示されます。

株式会社 **アイカ**

●松戸本社 〒271 千葉県松戸市上本郷88  
電話0473(61)3600、代表 FAX 0473(61)3642

●東京営業所 03(3813)4781 ●札幌営業所 011(757)3722

●仙台営業所 022(275)4250 ●名古屋営業所 052(721)2271

●大阪営業所 06(320)6191 ●福岡営業所 092(473)8707